

(別紙1)

管理運営状況 評価シート【令和3年度】

(評価日 令和4年6月29日)

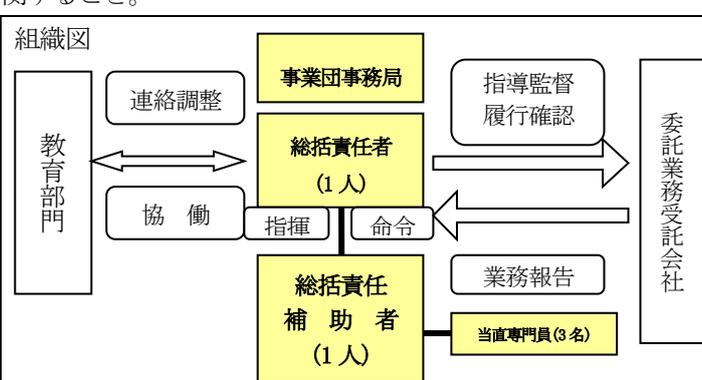
1 施設の概要

施設名	岩手県立県南青少年の家
所在地 電話・FAX HP・電子メール	岩手県胆沢郡金ヶ崎町永沢下館 49-1 電話 0197-44-2124 FAX 0197-44-2126 ホームページ http://iwate-sposhin.jp/kennan/ 電子メール kenritukennan@echna.ne.jp
設置根拠	青少年の家条例
設置目的	(設置：昭和56年3月27日) 次代の担い手である青少年に、恵まれた自然環境のなかで、規律ある共同宿泊生活を体験させ、友情、協同、奉仕等の相互扶助の精神を養い、地域社会の発展に寄与しうる自主的で創造性豊かな青少年の育成を図る。
施設概要	【敷地面積】98,785.21㎡ 【建物面積】4,837.78㎡ 【主な施設】○管理・研修棟 ○体育館 ○宿泊棟 ○キャビン ○付帯施設 ○研修機材等 ○駐車場
施設所管課	岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化財課 (電話 019-629-6171、メールアドレス DB0005@pref.iwate.jp)

2 指定管理者

指定管理者名	公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日(5年間)
連絡先	盛岡市みたけ1丁目10番1号 電話 019-641-1127

3 指定管理者が行う業務等

業務内容(主なもの)	1 施設等の供用に関すること。 2 施設等の維持管理に関すること。 3 施設の利用促進及び指導に関すること。		
職員配置、管理体制	5名 (令和3年4月1日現在) (内訳) 正規職員 1名 地域職員 4名		
利用料金	徴収していない		
開館時間	勤務時間 8時30分～17時15分 ※利用団体がある場合は、24時間	休館日	毎週月曜日(ただし、臨時開所することがある。)、12月28日～1月4日、その他所長が定める臨時の休所日

4 施設の利用状況

(単位：人)

(利用者数、稼働率等)	前期間平均	指定管理期間						備考
		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	期間平均	
第1四半期	8,982	5,758					5,758	
第2四半期	9,466	4,141					4,141	
第3四半期	5,782	5,135					5,135	
第4四半期	3,193	2,691					2,691	
年間計(実績)	27,423	17,725					17,725	
年間計(計画)		26,800	26,854	26,908	26,962	27,016		

5 収支の状況

(単位：千円)

区分	前期間平均	指定管理期間						備考
		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	期間平均	
収入	利用料金収入	0	0				0	
	指定管理料	34,335	36,801				36,801	
	自主事業収入	347	515				515	
	小計	34,682	37,316				37,316	
支出	人件費	7,105	10,883				10,883	
	維持管理費	26,276	26,802				26,802	
	事業費	0	0				0	
	自主事業費	376	457				457	
	小計	33,757	38,142				38,142	
収支差額	925	△ 826				△ 826		

6 利用者の意見等への対応状況

(1) 利用者意見(満足度等)の把握方法

把握方法	利用団体毎に利用評価票を提出いただいている。 利用者総合アンケートを実施している。	実施主体	県南青少年の家
------	--	------	---------

(2) 利用者からの苦情・要望

受付件数	苦情 0件、要望 11件、その他 0件		
主な苦情、要望等	対応状況		
エアコンを設置して欲しい。(4件)	県に要望している。扇風機と窓の開放で対応していただくよう説明し、ご理解を頂いた。		
お風呂がぬるかった。	湯温計に異常があったため、早急に修繕を行った。		
日帰り利用でも数カ月前に予約できるようにしてほしい。(2件)	指導依頼のある団体は日帰りでも早め(6カ月前)に予約できるよう変更した。		
野外炊事用の飯ごうを新しいものにしてほしい。流しの排水が一か所詰まっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・飯ごうは、新品に入れ換えた。 ・流しは、詰まりやすいことを注意喚起するとともにその都度つまりを解消させている。抜本的な修繕については、優先順位を含め県と協議していく。 		

宿泊部屋でドライヤーを2台以上使うとブレイカーが落ちる。	ドライヤーを2台以上利用可能な研修室等を案内し、使用していただいた。
<p>その他利用者からの積極的な評価等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こちらの要望に応じていただき、たくさん活動を体験させていただいたことに感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。 ・コロナ対応などで変更が重なってしまい申し訳ありませんでした。変更にも快く対応していただき、ありがとうございました。 ・いつも子供達が親しみやすく、安心するように接していただき、感謝しております。 ・掃除が行き届き、とても気持ちよく利用させていただきました。ありがとうございました。 	

7 業務点検・評価 (※)

(1) 業務の履行状況

項目	事業計画、県が求める水準	実績 (指定管理者の自己評価)	評価指標
管理業務等	1) 公の施設としての公共性を有することを十分に理解し、その趣旨を尊重した管理業務等の実施	県民の施設であることを念頭に、いつでも、誰でも、気軽に、そして公平な利用の確保を図るため、業務内容についての情報公開を適切に行った。また、施設管理部門と教育部門との密接な連携・協働を図るため、所内で十分に協議・協力して管理運営を行った。	B
	2) 県民の平等な利用の確保	できるだけ多くの団体に利用していただけるよう、一般企業等の利用も含め、利用形態に対応した受け入れを行った。	
	3) 設置目的を効率的かつ効果的に達成	利用者のニーズを勘案し、年間11回の臨時開所を行った。宿泊団体の無い日の体育館の夜間開放は、10団体に年間161回行った。	
施設の利用状況	1) 目標値の達成 管理運営計画書に掲げる年間利用者数 26,800人	年間利用者数 17,725人 対目標値 △ 9,075人	A

<p>2) 上記目標値に向けた取組みと、増減内容の把握</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者増加に向けた取組みは、開所 40 周年記念事業の一つとして、グラウンドゴルフ場のオープン（5月）や地域の幼稚園と連携しての新規プログラム「森の探検ごっこ」を開発するなどに取り組み、少子化である義務教育諸学校の利用のみに頼らない多岐方面に渡るPRの拡大を実施した。 ・増減については、昨年度比 1,129 人減の 17,725 人となり、計画数値（26,800 人）に対して 66%という結果となった。新型コロナウイルスの感染拡大が大きく影響した。（キャンセル数は 195 団体、9,722 人であり、実績数に加えると 27,447 人で目標値を越えていること。） 4～5月は、前年比 73%と利用控えが続いたものの6～7月は、小学校団体の利用が回復し、前年比 234%と大きく伸びた。しかし、「岩手緊急事態宣言」の発出（8/12）後は休所（8/16～9/20）を余儀なくされたことや、学校団体利用、出前事業のキャンセル及び宿泊利用から日帰り利用への変更が相次ぎ、前年度比 94%の実績となった。 	
<p>3) 施設利用促進に係る広報等の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校、教育事務所その他団体に要覧・所報の配布を行うとともに、幼稚園、児童館、高校、企業や社会教育担当者などターゲットを絞ったチラシを作成し配布を行った。 ・閑散期は、精力的に児童クラブや放課後子供教室への直接訪問を行い、出前講座に繋げる等の活動を行った。 ・マスコミ各社へ主催・自主事業等の開催案内及び取材依頼を行い新聞に掲載いただくなどPRに努めた。 ・ホームページをリニューアルし、リアルタイムな情報提供を行うとともに、利用者の問い合わせ等を想定し、施設の空き状況など利便性の高い内容になるよう工夫して情報発信に努めた。 ・フェイスブックを効果的に活用した主催事業の案内や終了事業の写真等掲載による広報活動を行った。 	

事業の実施状況	管理運営計画に基づく青少年の健全育成に効果的な事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・自主事業9事業を実施し、参加者は延 367 人の参加者を得た。継続して参加する方も増えている。 ・利用団体の評価は、「施設・設備」満足度の項目では「満足・良い」が 92%であり、まだ改善の余地が見られるが、「利用全体の満足度」の項目では「満足・よい」が 99%となっており、高い満足度を得ることができた。 	B
会計業務の状況	適正な会計業務(収入・支出・契約等)の執行	<ul style="list-style-type: none"> ・事業団会計処理規定に基づき、契約については県会計規則に準じて執行した。 ・事業団会計処理規程に基づき、関係法令等に照らし処理した。また、事業団本部との連携を密にし、関係書類は複数職員で確認するチェック体制を整え処理した。 	B
施設の維持管理状況	1) 施設設備の維持管理等業務の適切な実施	<ul style="list-style-type: none"> ・職員による日常管理に加え、専門業者による保守委託等で良好な状態を維持するよう努めた。 処置が必要な箇所については、速やかに職員または業者による補修・修繕を行った。 	B
	2) 公有財産の適切な管理	<ul style="list-style-type: none"> ・日常点検及び安全点検を実施し、異常ある場合は職員で情報共有し、安全及び利用の可否を判断するなど適切な管理に努めた。 ・損傷箇所を発見した際には、安全性と機能性を回復するため、速やかに対応することを基本にして、職員で修理できるものは修繕材料を調達し、困難なものは業者に発注し修理した(施設修繕3件、設備・備品等修繕29件)。 ・老朽化等使用不能の備品は廃棄処分等の整理を進めた。 	
	3) 備品について備品台帳との整合性を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・10月に一斉点検を行い、備品台帳と照合したほか、体育用備品については破損等の有無を点検し適切な管理に努めた。 	
記録等の整理・保管	各種帳票書類の適正な整理保管	<ul style="list-style-type: none"> ・事業団規定に基づき、類型・年度毎に保管管理した。 	B

自主事業等の取組み	施設の設置目的に沿った、利用促進に繋がる方策に基づく事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・自主事業については、12 事業実施の予定であったが、休所に伴い 3 事業を中止とし、9 事業を実施した。 ・実施にあたっては、細部まで内容を詰めていくことを常例とし、所外で行う事業にあつては実地調査を行うなどきめ細かなプログラムを提供するよう努めた。 ・地域との連携は、子供会等の出前事業への積極対応や、グランドゴルフ場を活用した地域高齢者の利用促進を進めた。また、近隣の「みどりの郷」スケートリンクを会場に「レッツ！スケート」（親子スケート体験）を2回実施した。 ・ホームページを活用し、リアルタイムで情報提供に努めるとともに、利用者の問い合わせ等を想定した利便性の高い内容になるよう工夫して情報発信に努めた。 	B
(施設所管課評価) ・成果のあった点 ・改善を要する点	<ul style="list-style-type: none"> ・成果のあった点 グランドゴルフ場の整備や、地域の幼稚園との連携プログラムにより学生以外の利用促進へとつなげた。自主事業においては、岩手緊急事態宣言に伴う休所により中止となった事業もあったが、地域団体及び他の社会教育施設等と連携を図り、参加者からの高い評価を得た。 ・改善を要する点 利用者数については、新型コロナウイルス感染症の影響で減少しているが、引き続き利用促進につながる取り組みに努めて欲しい。 		B

(2) 運営体制等

項目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
職員の配置体制	各業務に適した職員及び必要な有資格者の適正な配置	・管理計画書のとおり防火管理者等の適正配置を行っている。	B
苦情、要望対応体制	利用に関する各種問い合わせや要望及びトラブル等の適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> ・寄せられた提言に対しては、利用者等の立場で適切かつ迅速に対応し、その結果を最大限取り入れた業務改善を継続することにより、利用者等の信頼と満足度の向上を図るよう努めた。 ・利用評価票における意見・要望等は職員間で共有を図り速やかに改善するよう対応に努めた。 	B
危機管理体制（事故、緊急時の対応）	災害時・緊急時の対応や、防犯・防災対策として、マニュアルの作成や訓練の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・事業団危機管理対応要綱及び危機管理要領に沿って作成した「非常時対応マニュアル」を随時補正し、有事の対応に万全を期した。 ・自衛消防訓練及び消火訓練など年3回実施した。 	B

コンプライアンスの取組み、個人情報の取扱い	基本協定に基づく秘密の保持、個人情報保護及び法令遵守の確保 個人情報に関する書類の適切な保管管理	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めに「コンプライアンスマニュアル」の再確認をするとともに、毎月職員がコンプライアンスに関する自己取組みを発表し、意識の高揚に努めた。 ・コンプライアンスマニュアルに従い、年度初めに「個人情報保護」の職員研修会を実施し、個人情報が記載された書類等は内部の金庫又はキャビネットで管理するとともに、廃棄する場合は、シュレッダー破碎等により外部に流出しないよう管理を行った。 	B
県、関係機関等との連携体制	基本協定に基づく関係機関等との協力連携及び良好な関係の維持	<ul style="list-style-type: none"> ・協定書に基づく諸報告等については、期限を遵守するとともに、事業団本部と連携を密にし、適正に処理を行った。 ・県による会計実地検査においても特に問題はなく、事業団内部調査における指導事項についても職員全体で共有・改善を行った。 	B
(施設所管課評価) ・成果のあった点 ・改善を要する点	<ul style="list-style-type: none"> ・成果のあった点 概ね適正に運営されていると認められる。 ・改善を要する点 特になし。 		B

(3) サービスの質

項目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
サービス向上の取組み	サービス向上のための研修等の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・県及び事業団が主催する研修会に積極的に参加した。 ・接遇研修を受講後、所員に伝達講習を行い、サービス向上を徹底した。 	B
利用者サービス	利用者サービス向上に向けた方策に基づく、適切な利用者サービスの実施 1) 利用者の要望に応じた施設開所 2) 利用者の意見を反映させた青少年育成事業の実施 3) 青少年育成の場として適正な施設環境及び設備機能の維持（衛生環境保持、安全点検、修繕等） 4) 障がい者等特別な配慮が必要な利用者に対する柔軟な対応、施設設備の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のニーズに合わせて、休所日である月曜日を11回、臨時開所するとともに、宿泊団体の利用がないときの夜間の体育館を161回開放するなど、利用者の便宜を図った。 ・利用者の意見を反映した事業内容を検討し、開所時間や開所日の弾力的な運用等を実施した。 ・適正な施設環境及び設備機能の維持のため、必要に応じ専門業者へ維持保全に関する業務委託を行った。 また、定期的な安全点検の実施、速やかな修繕対応に努めた。 ・障がい者等が利用する場合は、宿泊室を一階の部屋にする等の配慮を行った。 	B

利用者アンケート等	<p>1) 利用者アンケートや意見箱の設置による利用者ニーズの把握</p> <p>2) アンケート結果に基づく業務改善</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者には団体利用の都度、利用評価票の提出をお願いし、多様化する利用者ニーズの把握を行った。 ・アンケートの集計、分析を行い、「施設」・「職員」・「満足度」の評価結果を職員で共有するとともにホームページに掲載するなど、施設運営や事業計画に反映させ、サービスの向上を図った。 	B
<p>(施設所管課評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果のあった点 ・改善を要する点 	<ul style="list-style-type: none"> ・成果のあった点 休所日の臨時開所や体育館の夜間開放を行うなど、利用者のニーズに合わせた運営を行っているほか、利用者アンケートの実施結果を職員で共有し、施設運営に活かしている。 ・改善を要する点 特になし。 		B

(4) サービス提供の安定性、継続性

項目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
事業収支	管理運営計画における収支の積算に対する適正な収支実績	<ul style="list-style-type: none"> ・会計諸帳票は、公益法人会計基準に定められたとおり作成しており、運営計画との整合性が図られている。 ・収支実績は、限られた予算の中で計画的に予算執行を行い施設運営ができた。 	B
指定管理者の経営状況	経営基盤の安定及び計画に沿った管理能力	<ul style="list-style-type: none"> ・収支については、当初計画に沿って進めた。コストの縮減については常に実効性のあるものか検証しながら事業担当者と協議し、無駄な予算執行の無いよう努めた。エコ・省エネ・節約について、エコスタッフが中心となり、職員への啓発とともに利用者への呼びかけに取り組んだ。 ・当事業団は、昭和60年の設立以来、借入金及び貸付金等はなく、健全な財務を維持している。 	B
<p>(施設所管課評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果のあった点 ・改善を要する点 	<ul style="list-style-type: none"> ・成果のあった点 概ね適正に運営されていると認められる。 ・改善を要する点 特になし。 		B

※（注1）県記載欄：「事業計画・県が求める水準」、「評価指標」「施設所管課評価」

指定管理者記載欄：「実績（自己評価）」

（注2）評価指標

- A：協定書、提案書等の内容について高レベルで実施され、また、計画を上回る実績（効果）があり、優れた管理がなされている。
- B：概ね協定書、提案書等の内容どおり実施され、計画どおりの実績（効果）があり、適切な管理が行われている。
- C：一部、改善・工夫を要する事項が見られたが、改善済み、または改善される見込みである。
- D：協定書等の内容に対し、不適切な事項が認められ、改善を要する。

8 指定開始年度から評価年度までの総合評価

(1) 指定管理者の自己評価

① 成果があった取組み、積極的に取り組んだ事項

- ・ 地域の幼稚園と連携し、新たな活動プログラム「森の探検ごっこ」の開発に取り組んだ。
- ・ 開所 40 周年記念事業の一つとして金ヶ崎町グランドゴルフ協会の協力を得て 5 月にグランドゴルフ場をオープンした。
- ・ 大人を対象とした新規事業「大人ワンダークラブ」を実施。多様なテントの設置や火おこし体験等で満足度は高い評価をいただいた。
- ・ 年間 11 回の臨時開所により、利用者の利便性を図った。
- ・ 夜間の体育館を開放し、近隣のスポーツチームやスポーツ少年団の活動場所を提供するなど、利用回数は 161 回であった。
- ・ 新型コロナウイルス感染対策として、利用者の検温や消毒の実施、定期的な換気、宿泊室ベッドの連続使用防止策としてベッドの色分けなど、感染防止策を継続実施した。
- ・ 大雪が多かった今季は、職員全員で連日の除雪作業を行ったほか、屋根からの落雪による窓ガラスの破損防止のためコンパネ設置など、施設の保全に努めた。
- ・ 花壇や玄関脇プランターに夏花を植え、景観環境にも配慮して利用団体を迎えた。
- ・ 閑散期を利用し、宿泊棟全室のベッドマットを起こし、全職員で清掃した。
- ・ 委託業者と「給食会議」を 2 回開催し、利用者ニーズに対応した食事の提供等により好評を得た。
- ・ 閑散期は、地域の児童クラブ、放課後子供教室や高校を直接訪問し施設や事業の PR に努めた。その結果、児童クラブからの出前講座の申請が早速にあるなど利用促進に繋げることができた。

② 現在、苦慮している事項、今後、改善・工夫したい事項、積極的に取り組みたい事項

- ・ 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、利用者の利用控えが継続しており、管理運営計画書に掲げた目標値の達成は厳しい状況であるが終息を待ちながら、今後も利用促進策を粛々と継続する。
- ・ 施設の老朽化による破損が多発しており、応急的な処置では限界にきている。予算的な制約もあり職員が応急対応することも多い。職員の負担も大きく、原因が解消されない限り根本的な解決とはならない。
築 41 年を迎える施設群のため、設備の不具合が複数同時に発生しており、優先順位の判断も難しくなっている。
- ・ 新たに参画した「千貫石森林公園運営連絡会議」の場を活用し、当所の主催事業や活動プログラムの情報提供等連携した事業展開を考えたい。
- ・ 児童クラブや放課後子供教室への直接訪問による PR 活動を強化するとともに、年間を通して新プログラム「森の探検ごっこ」を活かし、幼・保・こども園への利用促進、グランドゴルフ場を活用した高齢者の利用促進を進めていく。
- ・ 当所の施設の紹介、年間行事と提供プログラムの紹介等、魅力ある事業内容を企画して、引き続きホームページ・フェイスブックやチラシ配布等で情報の提供を行い、利用者が気軽に参加できる場の提供を実施していく。
- ・ 宿泊利用者がいない夜間の体育館の開放などに今後も努める。

③ 県に対する要望、意見等

- ・ 営繕にあたっては、小修繕対応では施設の維持が難しくなっており、利用者の安全・安心の確保の観点からも大規模改修が望まれる。(本館の外壁・内装改修、第一炊事場屋根塗装、敷地フェンス、境界柵ほか)
- ・ 建物関係では、第一器具庫下屋が腐食による倒壊の危険があるため早急の修繕が必要である。
また、施設内の冷房設備は食堂・医務室のみのため、近年の酷暑により利用者及び職員の健康管理上大きな不安を抱えている。体調不良者の休養や執務の効率化のため、宿泊棟和室、当直室及び事務室等のエアコン設置をお願いしたい。
- ・ 令和2年12月の豪雪により大型テントが倒壊したため、集会用簡易組立式テントを整備していただいたが、強風時にはテントを取り外す必要があり、職員体制や天候急変によってはテント脱着が困難である。天候急変でも利用者が安全に活動できる場所を確保する必要があることから、以前と同程度(鉄骨、独立基礎有)のテント設置が望まれる。
- ・ 備品については、車両関係(普通車、除雪機)が使用に耐えがたい状態となって来ているため計画的な更新をお願いしたい。
- ・ 宿泊棟や浴室の電力容量(20A)の不足が原因で、朝の一斉清掃やドライヤー使用時に電力遮断があり利用者には不便を強いている。また、Wi-Fi環境の整備も利用者から多くの要望があることから、これらを整備することで、各種学校や企業の利用促進に繋げたい。
- ・ キャンプ場及び多目的グラウンドの水はけが悪く降雨後数日間は野営希望団体のテント設営の場所に苦慮している。グラウンドコンディションが悪く利用団体に不便をかけている状況にあるため、暗渠排水等改修が望まれる。

(2) 県による評価等

① 指定管理者の運営状況について

施設の臨時開所や、利用促進につなげる事業の実施及び広報活動を適切に行っており、施設利用者からも一定の評価を得ている。

② 県の対応状況について(自己評価)

昨年度同様に、毎月の定期報告により施設の管理状況・利用状況等を把握するとともに、施設・設備の老朽化が進んでいることから、修繕状況の把握に努めた。予算の確保及び工事の施行等、引き続き指定管理者と連携して適切な施設整備に努めたい。

③ 次期指定管理者選定時における検討課題等

特になし。

9 改善状況等

改善を要すると評価された項目(C、D評価の項目について)

該当なし。

改善状況

(指定管理者から県への報告年月日:令和 年 月 日)

改善状況の確認

(確認年月日 令和 年 月 日)